

インフルエンザ週報 2025 年 第5週 (1 月 27 日 ~ 2 月 2 日)

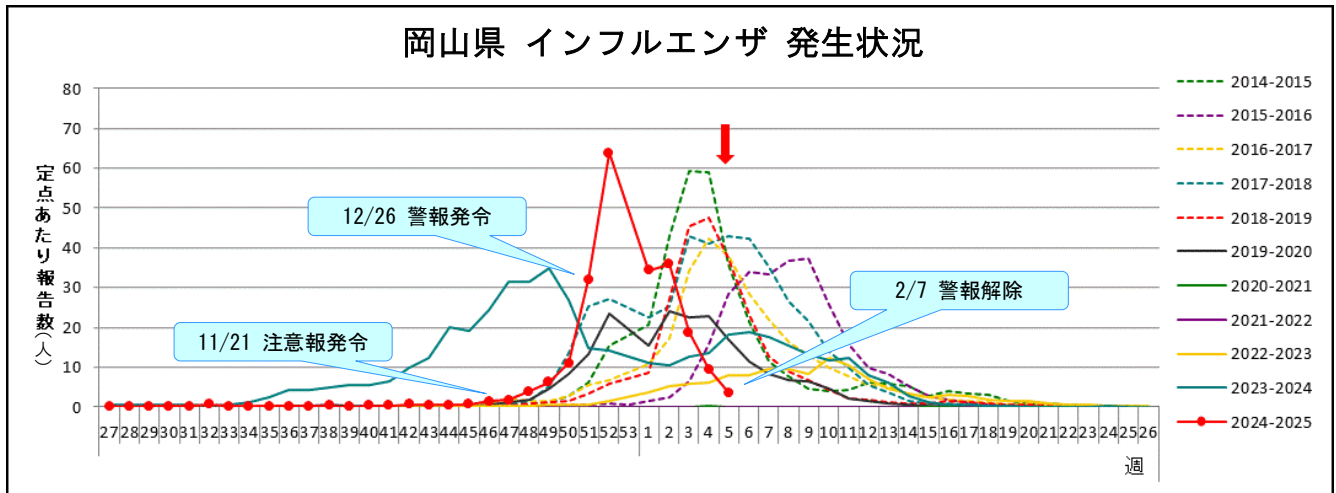
岡山県は『インフルエンザ警報』を解除し、『インフルエンザ注意報』に切り替えました(2 月 7 日)

岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で 297 名（定点あたり 3.54 人）の報告がありました（84 定点医療機関報告）。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 12 施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者 9 名の報告がありました。

【第 6 週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 4 施設でありました（2 月 3 日～5 日）。



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第 27 週 ~ 翌年第 26 週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で 297 名の報告があり、前週から減少しました（定点あたり 9.42 → 3.54 人）。

岡山県は、昨年 12 月 26 日に発令した『インフルエンザ警報』を 2 月 7 日に解除し、『インフルエンザ注意報』に切り替えました（警報の解除基準：2 週連続して、定点あたり 10 人を下回った場合）。

地域別では、備北地域（7.17 人）、真庭地域（6.33 人）、倉敷市（5.31 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。

県内の発生状況に注意するとともに、基本的な感染防止策（場面に応じたマスクの着用、手洗い等の手指衛生、人混みを避ける）、健康的な日常生活、あらかじめの備え（ワクチン接種）等に留意し、感染予防・感染対策に努めましょう。

◆インフルエンザの流行が継続しています。

引き続き感染に注意しましょう◆

【感染予防と感染対策の徹底】

- ・ 場面に応じたマスクの着用、手洗い、手指消毒の徹底
 - ・ 室内の適度な湿度の設定、定期的な空気の入換え
 - ・ 高齢者や基礎疾患のある方などは、人混みを避ける
 - ・ 十分な休養、バランスのとれた食事
 - ・ 高齢者や基礎疾患がある方など重症化リスクが高い方で、予防接種がまだの方は接種を検討しましょう
- （ワクチン接種により、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があります）

【発熱等の症状が出た際の対応】

- ・ 無理をして学校や職場等に行かないようにしましょう
 - ・ かかりつけ医などの医療機関を早めに受診しましょう
- （受診の際はマスクを着用しましょう）
- ・ 周りの方へうつさないように「咳エチケット」を！
 - ・ 水分を十分にとり、安静にして休養をとる

⇒ 詳細は岡山県ホームページ [『インフルエンザ対策について』](#) をご覧ください。

1. 地域別発生状況

地域名	発生状況（人）		推移	地域名	発生状況（人）		推移
岡山県全体	患者数	297	▲	備 中	患者数	40	▲
	定点あたり	3.54			定点あたり	3.33	
岡山市	患者数	48	▲	備 北	患者数	43	▲
	定点あたり	2.18			定点あたり	7.17	
倉敷市	患者数	85	▲	真 庭	患者数	19	▲
	定点あたり	5.31			定点あたり	6.33	
備 前	患者数	38	▲	美 作	患者数	24	▲
	定点あたり	2.53			定点あたり	2.40	

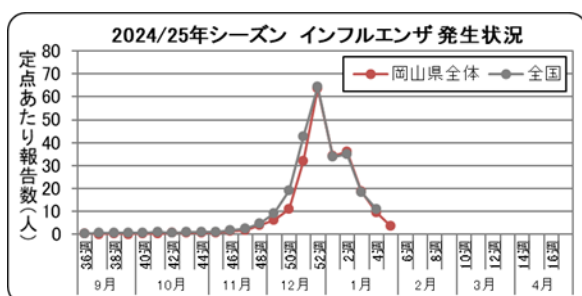
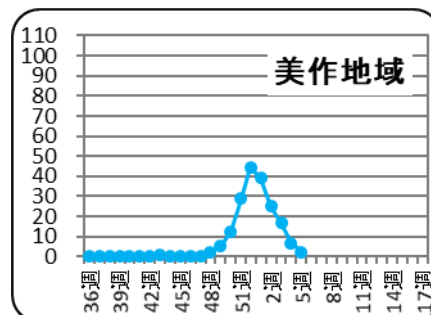
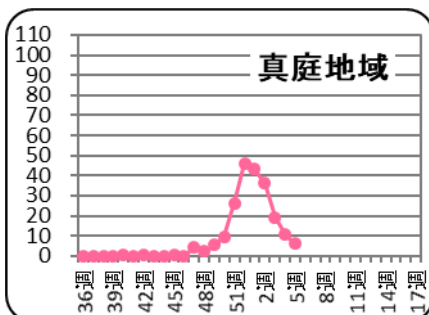
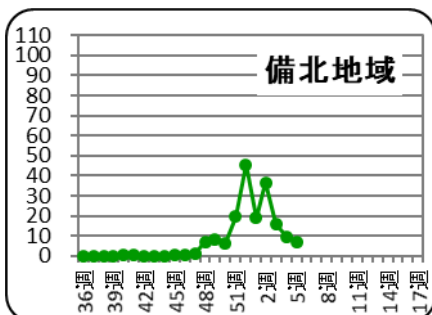
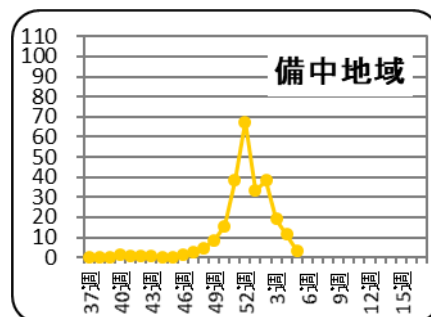
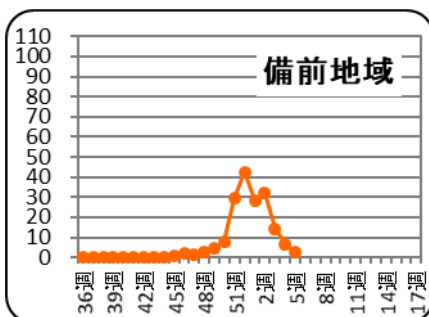
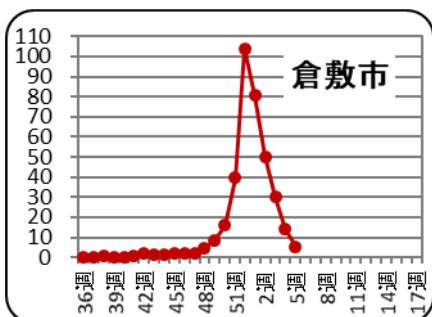
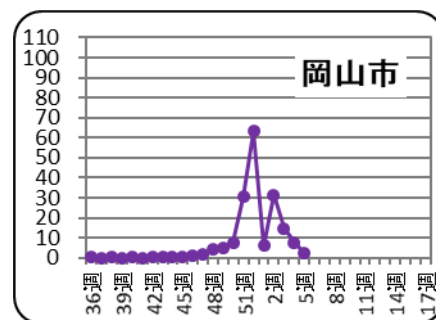
【記号の説明】前週からの推移 ▲：大幅な増加 ▲：増加 ▲：ほぼ増減なし ▼：減少 ▼：大幅な減少
 大幅：前週比 100%以上の増減 増加・減少：前週比 10～100%未満の増減

インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

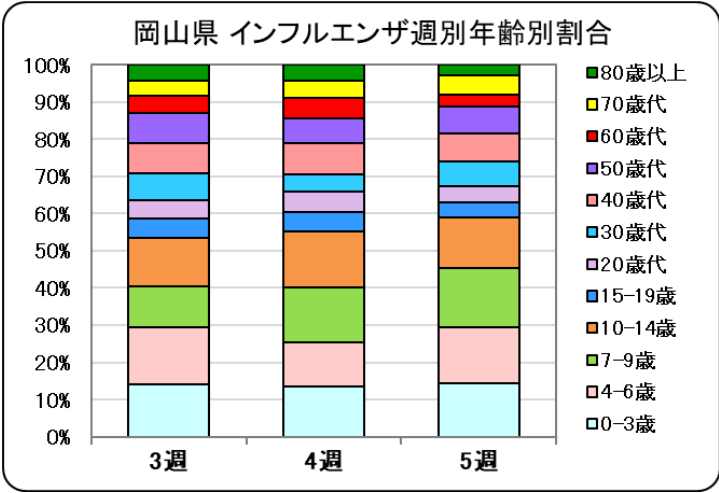
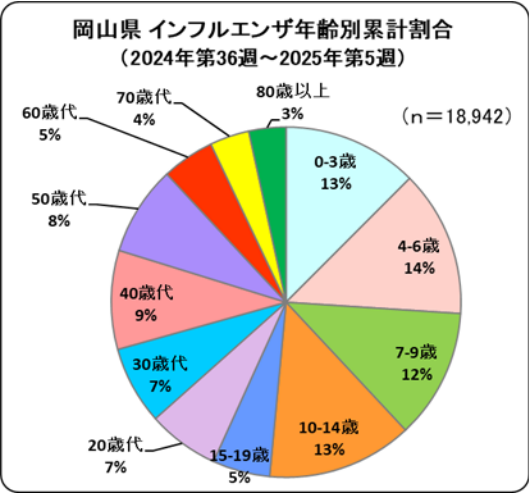
レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満
レベル1		報告なし
基準値		基準値
0 未満 10 未満		0



全国集計 2025 年第 4 週（1/20～1/26）速報値によると、全国の定点あたり報告数は 11.06 人となりました。都道府県別では、山形県（25.31 人）、新潟県（20.62 人）、石川県（19.15 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。全都道府県で前週の報告数から減少しました。

[インフルエンザの発生状況について（厚生労働省）](#)

2. 年齢別発生状況



⚠ 留意点: 年齢階級別の報告数の考え方について

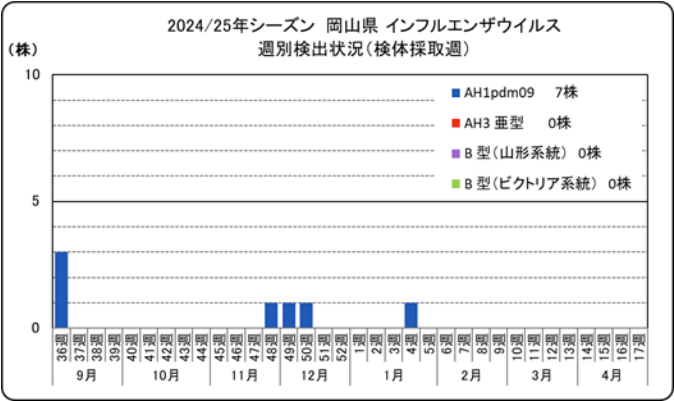
定点医療機関は、小児科定点(54 医療機関)が内科定点(30 医療機関)に比べて多いため、**報告数は小児に偏ります。**

3. インフルエンザウイルス検出状況

【岡山県】

2025 年第 5 週、環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは 1 株（詳細は下表参照）でした。

今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは 7 株で、全てが AH1pdm09 となっています。

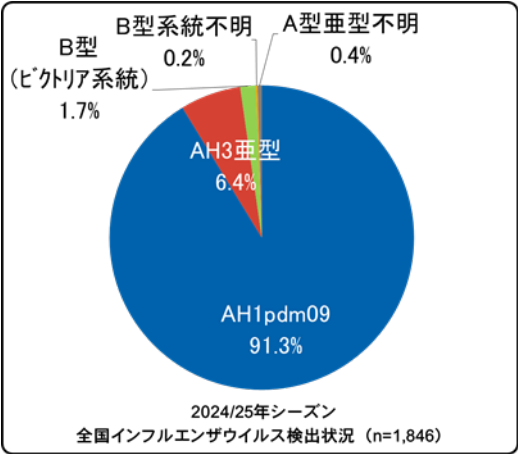
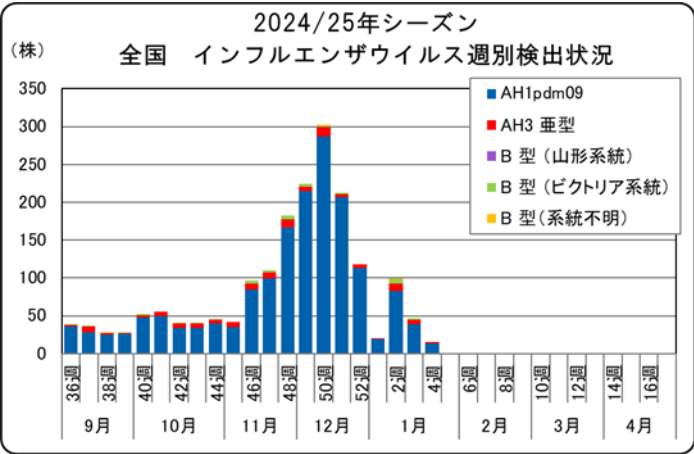


ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルスAH1pdm09	2025年第4週(1/20～1/26)	2025/1/22	岡山市	50代	男	

【全国】

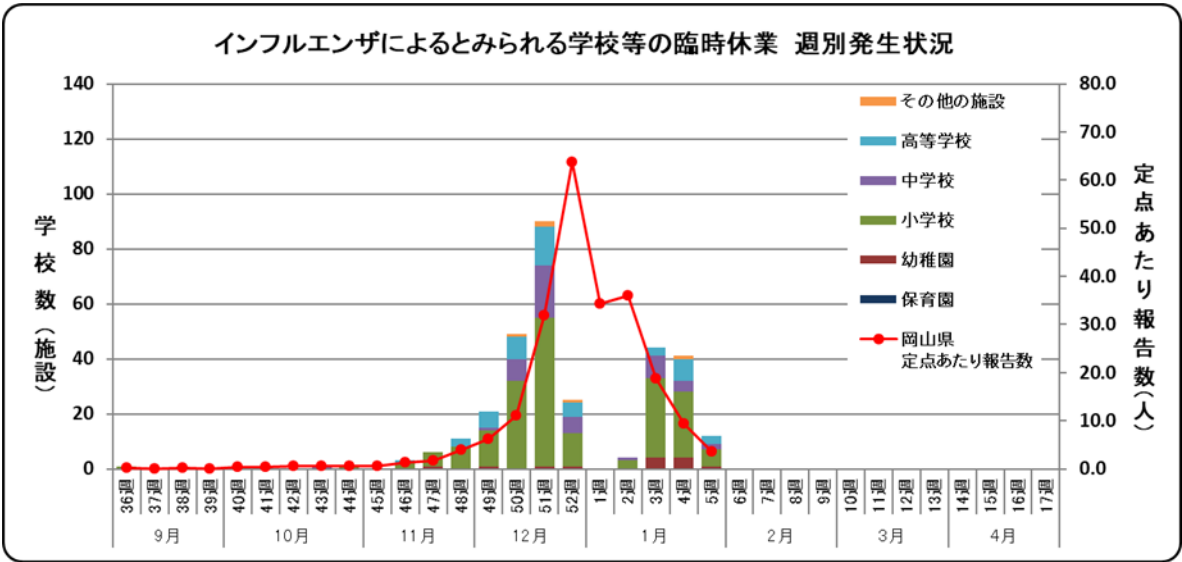
今シーズン、これまでに検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09 が 1,685 株、AH3 亜型が 119 株、B 型（ビクトリア系統）が 31 株、A 型亜型不明が 8 株、B 型系統不明が 3 株となっています（2 月 4 日現在）。

[インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立感染症研究所）](#)



4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が、12 施設でありました。



臨時休業施設数の内訳

	保育園	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他	計
第5週	0	1	6	2	3	0	12
累計	0	13	190	50	51	5	309

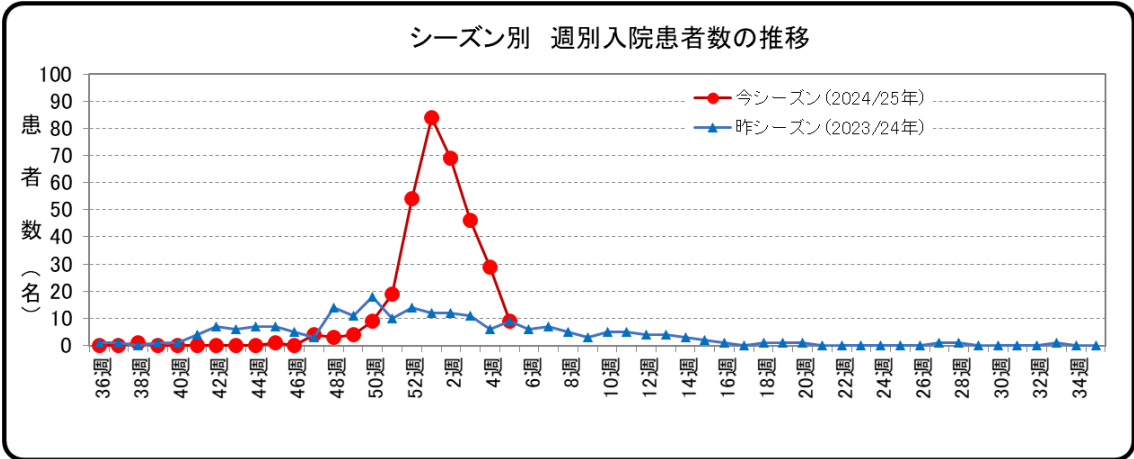
最新の臨時休業の情報については以下のホームページをご覧ください。

→ [（R6年度シーズン）岡山県内の学校等におけるインフルエンザとみられる臨時休業](#)

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、9 名の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずウトウトしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第 5 週 入院患者報告数】

年齢	1 歳未満	1～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計 *
入院患者数									2		5	2	9
ICU 入室 *									2		2		4
人工呼吸器の利用 *									1				1
頭部 CT 検査(予定含) *									1		1	1	3
頭部 MRI 検査(予定含) *											1		1
脳波検査 (予定含) *													
いずれにも該当せず											3	1	4

* 重複あり

【2024 年 9 月 2 日（第 36 週）以降に入院した患者の累計数】

年齢	1 歳未満	1～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計 *
入院患者数	6	32	21	8	2	4	1	7	27	41	80	103	332
ICU 入室 *		1	3				1	3	7	4	7	5	31
人工呼吸器の利用 *		1	1				1	3	4	1	6	5	22
頭部 CT 検査(予定含) *		2	2	2				1	3	4	10	16	40
頭部 MRI 検査(予定含) *		7	6	1					1		3	2	20
脳波検査 (予定含) *		3	3	2									8
いずれにも該当せず	6	23	11	6	2	4		4	19	33	63	80	251

* 重複あり

[令和 6 年度 インフルエンザ Q&A（厚生労働省）](#)

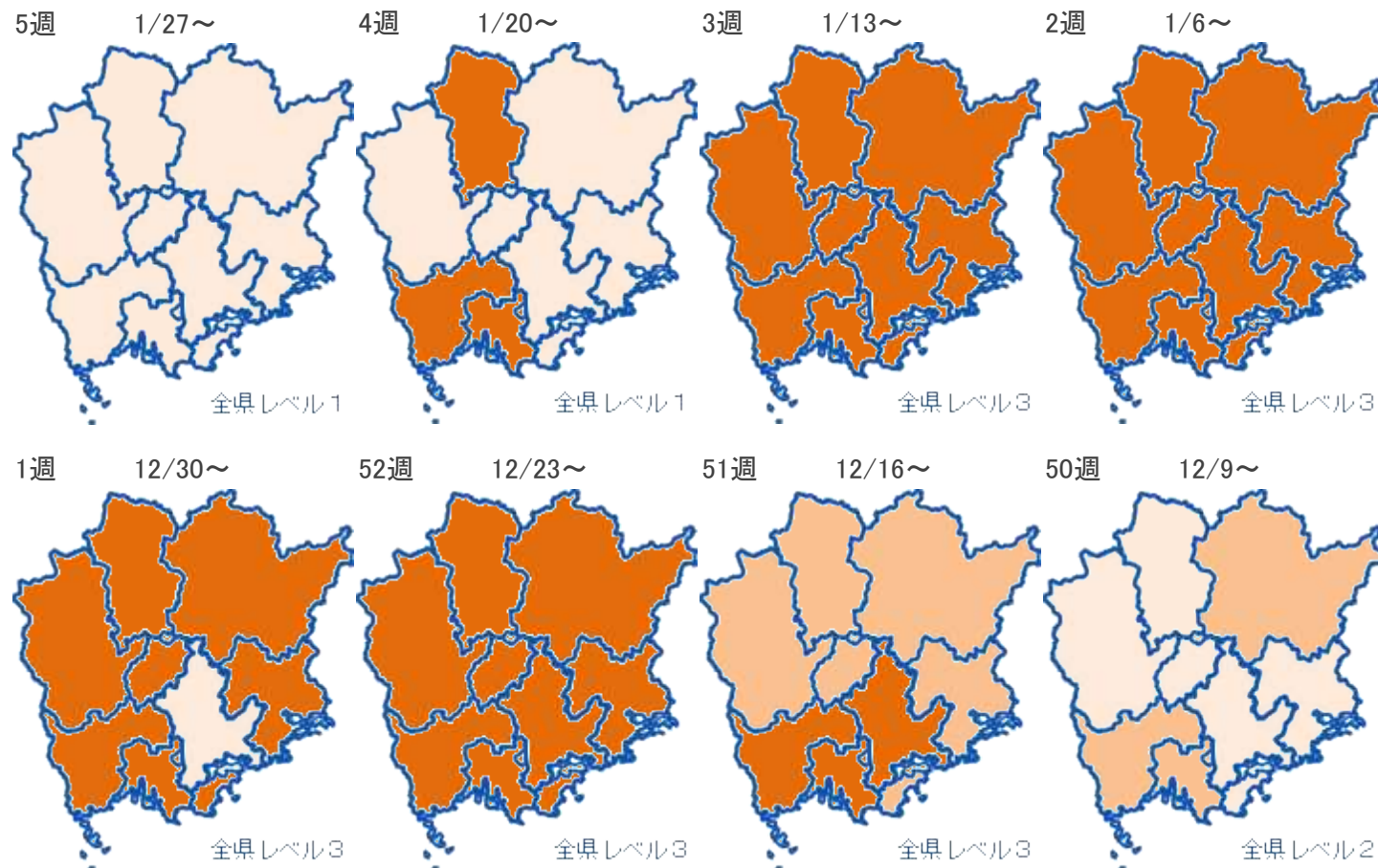
[令和 6 年度 今シーズンのインフルエンザ総合対策について（厚生労働省）](#)



2025年 5週

2025年2月4日

14:06:03



レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。